

表2. モデルカリキュラム「保育内容「健康」の指導法」の全体目標、一般目標、到達目標（一般社団法人保育教諭養成課程研究会）

【全体目標】領域「健康」は、「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育において育みたい資質能力について理解し、幼稚園教育要領に示された領域「健康」のねらい及び内容について背景にある専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。

(1) 領域「健康」のねらい及び内容		本書の対応章	1章	2章	3章	4章	5章	6章	7章	8章	9章	10章	11章	12章	13章
			子どもの健康とは何か	からだの心と心の発達	子どもの健康を維持するための生活スタ	子どもの遊びと健康～有酸素能力・学力の向上	子どもの肥満	子どもの遊びとメンタルヘルス	子どもの骨を強くする方法	子どもの遊び（身体活動）の奨励基準	子どもの体力と基本的動作を測定・評	健康を予測する子どもの握力	子どもの遊びと環境	子どもの遊びと安全	子どもの運動遊びの実践について
一般目標	幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容を理解する。														
到達目標	1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「健康」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。	●											●	●	
	2) 領域「健康」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。	●			●		●	●				●	●		●
	3) 幼稚園教育における評価の考え方を理解している。	●				●		●				●			
	4) 領域「健康」において幼児が経験し身に付けていく内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりを理解している。	●			●							●			
(2) 領域「健康」の指導方法及び保育の構想		本書の対応章	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
一般目標	幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。														
到達目標	1) 幼児の心情、認識、思考及び動き等を視野に入れた保育構想の重要性を理解している。		●					●					●	●	●
	2) 領域「健康」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。												●		●
	3) 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。														●
	4) 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。														●
	5) 領域「健康」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。	●		●	●								●	●	●